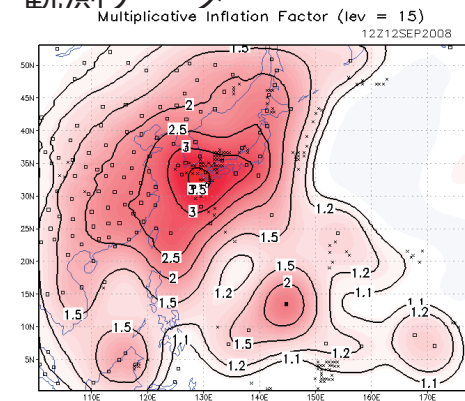


MACS SG1 データ同化の数理と応用

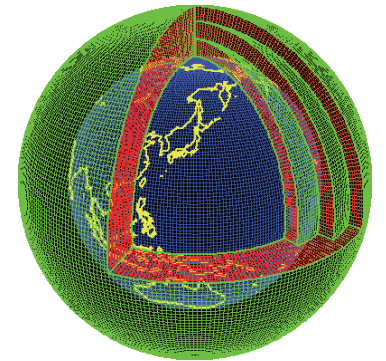
理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス

- データ同化は、現象の数理モデルのシミュレーション結果に本質的に含まれる予測誤差を観測データによって補正することで、予測力を向上させる手法です。
- 今年度は「データ同化A・B」の講義がコロナウィルス感染拡大の影響で不開講になったため、オンラインでのSGを実施します。
- 登録者に対しては定期的なデータ同化に関する研究セミナーへ参加いただき先端の研究に触れていただく予定です。また、必要に応じて関連書籍・文献の輪読やデータ同化研究会を開催することも検討しています。

観測データ

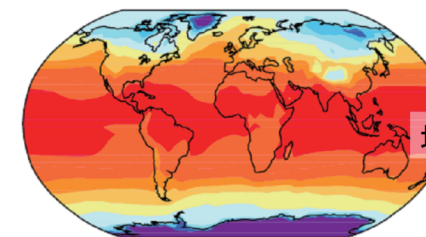


大自由度の数理モデル

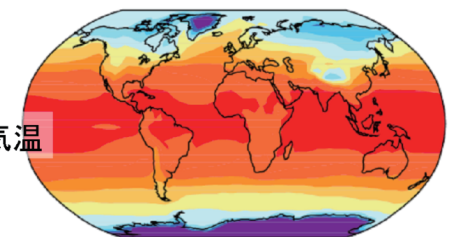


データ同化・確率数理モデル

CRU/HadISST



Mean Model



確かな予想へ

担当教員：坂上貴之（数学数理解析専攻）・三好建正（理化学研究所 R-CCS）
宮崎真一（地球惑星科学専攻）・大塚成徳（理化学研究所 R-CCS）